

ion の冒頭に、「何か定まったやり方を宣伝するためではなく、考えることを刺激するために」という句が、毎号載っている。

私どもが幼児教育に携われるに当たっても、当り前と思われることをもう一度考え直し、いろいろの角度から考えながら、毎日の歩みをすすめることがたいせつである。その雑誌に、次のような意味の詩がのっていた。「現代、創造性は死んだ。しかし、誰もその死に気付かなかった。ただひとり、その死を悲しんだものは、創造者である神であった。殺したものはどうしたか、彼は、自分が殺したという事実に気付かなかつた。彼は、たったひとつのことは、ちょっとした叱責、わずかな態度で殺したのである。彼は、良い教育の名において行動していると思ひながら、殺人者となつた。彼は、創造性が、彼の専制的な教育観と矛盾するために殺した。そして、悲しむべき事実は、彼はそのことに気付かないで歩みつつあるということである」

ある養護施設のはなしである。ひとつの寮では、子どもたちはきわめて静粛であり、整理整頓が正しく、隣の寮では、いつも子どもの声がきこえており、ちらかっていることも多いという。

ところが、学校でいろいろの不適応を起し、また、施設外で非行のために警察から連絡があるのは、きまって前者の寮であるという。

前者の寮の子どもたちは、先生や指導員の顔色をみて行動し、行動に裏表があり、後者の寮では、先生にくち答えしたり、自己主張したりするが、先生を中心にして気持ちの結びつきがあるという。

外側からみた秩序と、内面的な秩序とは別のものであることがわかる。幼児の行動は、一見無秩序にみえるところに、内面的な秩序を見出すことがある。子どもたちが、それぞれ、自分の目標をもち、自分の理由をもって行動しているところには、内面的な秩序がある。

(T)

幼児の教育 第六十四巻 第九号

九月号 © 定価六〇円

昭和四十年八月二十五日 印刷
昭和四十年九月一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
フレール館にお願いたします。